

私たちの湘南御行会だより

湘南御行会発行

令和3年12月5日 238号



年末の挨拶と「新年会開催」のお知らせ

コロナ禍の下での幕明けとなった令和3年も残すところわずかとなりました。会員の皆様どんな一年でしたか？思い起こせば、昨年の2月号で新型コロナウイルスに起因する肺炎が世界的に発生、日本も注意が必要と書いてから1年9か月、世界中がコロナに翻弄されました。オリンピックは1年遅れて開催されましたが、日本選手の活躍は目立ったものの無観客での開催となり、もう一つ盛り上がりには欠けた結果となりました。湘南御行会を始め老人クラブの活動、町内会などの活動は自粛、自粛のあおりを受け、ひたすら耐える一年でした。未だに世界各地では感染の拡大が止まりませんが、何故か日本ではワクチン接種が功をそうしているのか感染者数が減少、それに伴い重傷者数も低下の道を辿り世の中大分落ち着きを取り戻した感があります。

この様な状況に鑑み、10月11月の役員会で今後の活動を慎重に検討しました。その結果、先ず条件付きで新年会から全体活動の再開を決めました。その条件とは

1、感染者数の増加及び新しい感染変異株に注力、増加傾向の時は開催を中止する。2、上位組織の方針に従う（市老連は賀詞交歓会実施を決めました）3、会場（ホテルニュー向洋）とコロナ感染防止対策を充分練る（テーブル席での向かい合わせは行わないなど）4、同時開催の誕生会は行わないで新年会だけとする。従って5、全員での合唱は行わない。6、更に考えられる項目が有れば追加し万全の体制で臨む。以上が開催条件です。ご自身で判断の上皆様の参加をお待ちいたします。

12月の声を聞きますと師走は早足で駆け抜けます。皆さんくれぐれもご自愛ください。来年こそ良い年にしたいですね。少し早いですが皆様どうぞ清々しい新年をお迎えて下さい。1年間ありがとうございました 岩田記
以下に新年会開催のお知らせを記します

「令和4年湘南御行会新年会」開催案内

日時；令和4年1月25日（火）12時～14時

場所；ホテルニュー向洋

会費3200円/1人

参加希望者は1月10日までに会費を添えて担当役員に申し込みください

新年会の詳細は後日お知らせします

「ロマンの会」昼食会開催しました

11月24日（水）西方公園でプレイの後、グランドゴルフ「ロマンの会」は1年半ぶりに昼食会を開催しました。場所は海岸通り「レッドロブスター」。加藤ロマンの会会長の挨拶、11月までの成績発表に引き続き、お待ちかねビールで乾杯し、メインディッシュ「ガーリックシュリンププレート」に舌鼓。久方ぶりの昼食会を皆さん堪能しました。このままコロナが収束の道を辿る事を祈りながら次回の食事会開催を期待してお開きとなりました。ロマンの会は年2～3回昼食会を行います、楽しいひと時です。

防災訓練

11月7日御行町内会の防災訓練（津波対象）がシオサイセンターで開催されました。本当に津波に襲われたら落ち着いた行動をとれるのか少し心配ですが、日頃の訓練が必ず役に立つと信じて訓練に参加しました。湘南御行会からも5名ほど参加しました。長谷川会長の訓話、防災担当者による津波による境川の変貌ビデオは参考になりました。御行会も4月の総会の時にビデオを鑑賞したらどうだろうかと思いました。12月4日にも片瀬地区の総合防災訓練が片瀬小学校で有ります。



はてな？城跡と城址

あまりお役に立たない話です。妻と大分方面に旅行した時のこと、かつて豊後竹田に構築された岡代の城跡（しろあと）を訪れました。入り口には「岡城跡案内図」があり案内に沿って暫く歩くと大きな石碑と対面そこには、史跡「岡城址」と書いてありました。その時ふと湧いた疑問、「城跡」と「城址」の違いは何？でした。疑問に思うと調べたくなる嫌な性格、帰宅して調べて見ました。結果両方とも元々この地にお城があったこと」を表す言葉とのことです。厳密には両者の漢字は異なるため、全く同じ意味の言葉というわけではありません。お城の土台や石垣などが残っている場合は「城址」。昔はこの場所にお城が建築されていたが、現在は全く何も残っていないような跡地を「城跡」と呼ぶということです。さあここからがややこしいです。同じような意味でありながら、なぜ「城址」と「城跡」の2種類の表記の仕方があるのでしょうか？実は、元々「しろあと」を意味する言葉は、「城址」もしくは「城趾」と表記していました。具体的に言いますと、1945年よりも前は「城址（城趾）」という表記しかされていなかったのですが、1946年になると戦後の漢字改革により、「当用漢字表」が公布されました。その当用漢字表には「址」や「趾」という漢字は含まれていなかったのです。そのため、仕方なく意味も似ており当用漢字表にもものっていた「跡」を使い「城跡」という漢字表記がされるようになりました。1981年に「当用漢字表」が廃止「常用漢字表」が公布されました。ここでも「址」と「趾」は含まれていなかったのですが、「使用禁止レベル」から「可能なら使わない程度の制限レベル」へと変わり「址」や「趾」が解禁され、元の表記である「城址」や「城趾」が復活することとなりました。よって、現在では「城跡」も含めた複数の表記がされるようになっているということです。但し公文書や新聞などにおいては常用漢字登録の「城跡」を用いています。お城を管理されている方などでも、漢字の意味まで理解して使い分けている人はごく少数でしょう。両者の違いは、字義というよりも漢字の種類にありました。ふとした疑問でしたが奥が深かったです。小田原城は小田原城址ですが公文書上は小田原城跡です。因みに文頭の岡城址「春高樓の花の宴、巡る盃かげさして…」土井晩翠が「青葉城」「鶴ヶ城」の栄枯盛衰を詠んだ、原題「荒城月」の詞に、少年時代を竹田で過ごした瀧廉太郎が、荒れ果てた岡城址に登って遊んだ印象から着想を得て「荒城の月」を作曲したと言われている由緒ある城址です。作曲は明治34年、当然「城址」という字は使われていました。作詞家「土井晩翠」は「つちいばんすい」と言いましたが昭和初期に改称して「どいばんすい」になったそうです。知りませんでした 岩田記

今後の主な行事予定

- ◎12月7日(火)13時 片老連スマホ勉強 工芸室
- ◎12月15日(水) 片老連定例会議
- ◎12月24日(金) 役員会
- ◎1月11日(火)13時 片老連スマホ勉強 工芸室
- ◎1月19日(水) 片老連定例会議
- ◎1月20日(木) 役員会
- ◎1月25日(火) 12時新年会 ニュー向洋

編集後記

早いものでもう師走です。今年も無事皆様に会報をお届けすることが出来ました。ありがとうございました。ニュースではコロナに新しい株が発生したとか！何とか平穏な新年を迎え、楽しい新年会を開催したいですね・インフルエンザにもご注意ください。良いお年を 岩田